

1 漢字の基礎

▼まとめ▲

■ 漢字の成り立ち（六書）

中国の後漢のころから、漢字は造字法（作られ方）・運用法（用いられ方）の上で六種類に分けられ、これを六書と呼んでいる。

——造字法による分類——

(1) 象形文字……物の形を象った絵画的な文字。他の文字を造る上で最も基本的な働きをする。



(2) 指事文字……ものごとの位置・数量・性質など、抽象的なことがらを点や線で示した、一種の符号文字。



(3) 会意文字……すでにできている文字を組み合わせて、別の新しい意味を示した文字。



(4) 形声文字……形（意味）を表す文字と、声（音）を表す文字を組み合わせた文字。（全漢字の八割以上がこれにあたる）



——運用法による分類——

(5) 転注文字……ある文字の本来の意味（原義）を、それに関連する他の意味（転義）に転用した文字。

〈原義〉

〈転義〉

楽（ガク）〈音楽〉 → 楽（ラク）〈楽しい〉
悪（アク）〈わるい〉 → 悪（オ）〈にくむ〉

(6) 仮借文字……ある語を表す文字がない場合、意味に関係なく、その音だけを借りて用いた文字。外国語の表記に多く用いられる。（万葉仮名もこれに近い）

亜米利加 アメリカ
英吉利 イギリス
倫敦 ロンドン
パリ パリ
基督 キリスト
珈琲 コーヒー

◆ 漢字の成り立ちを頭に入れておくことで、初めて出会う文字の意味を推し量ることができるし、漢字のほとんどが形声文字であるから、音読みだけは音符の部分から判断できる。（時・侍・時・時・時——音読みは「ジ」である）

■ 漢字の部首

漢字を構成している基幹的な部分が部首で、ほぼ次の七種類に分類できる。

- (1) 偏（左側につく）
- 体
 - 情
 - 狩
 - 隠
 - 腹

- (2) 旁マダ (右側につく) □ 刈カ
- (3) 冠カウ (上部につく) □ 京キョウ 邪ジャ 順ジュン
- (4) 脚カク (下部につく) □ 熱ネツ 盛セイ 窓マダ 悲ヒ 泉セン
- (5) 垂タレ (上部から左側にかけてつく) □ 厚コウ 廢マイ 病メイ
- (6) 繞ニョウ (左側から下部にかけてつく) □ 送ソウ 延エン 越エツ
- (7) 構カウ (外側から囲んだり、挟んだりする) □ 包ホウ 匠ジュウ 固コ 間カン 街ガイ

◆ 主な部首は、名前と意味を覚えておくこと。部首の意味を知ることが最も効率のよい漢字の学習法である。(例——貝は貨幣の役目をしたので貢・財・販・資など。「衤」は神事に関係があり、「衤」は衣服の關係だから、祈・祝・禪・社などと襟・裸・複・補などを区別する、というように。)

■ 漢字の画数

次のような部分・文字の画数に注意すること。

- 一画……フ(加) L(匹) 乙(九) ㇇(及) 乙(乙)
- 二画……了(予) 几(風) □(凶) 匕(危) 又(友)
- 三画……彡(糸) 女(好) 卩(郊) 辶(道) 廴(延)
- 四画……母(每) 水(泉) 爿(役) 氏(低) 片(版)

■ 漢字の筆順の原則

- (1) 上から下へ
- (2) 左から右へ

草(サ昔草)
湖(ハ沽湖)

(3) (例外) 繞ニョウはあとから。 近キン(斤近) 建ケン(聿建)

横画から縦画へ 用ヨウ(月月用)

(例外) 下につき抜けない縦画は途中で書く。 生セイ(艹牛牛生)

(4) 中央から左側へ 樂ラク(白油楽) 水スイ(冫水)

(例外) 次の二つは中央があとにくる。 火カ(灬少火) 性セイ(忄忄性)

(5) 外側から内側へ 国クニ(囗国国) 関カン(門関)

(例外) 次の二字は内から外。 区ク(一又区) 齒シ(止業齒)

(6) 貫く縦・横画は最後 事ジ(亓亓事) 母ボ(㇇㇇母)

(例外) 上部、縦画、下部、重・謹なども 里リ(曰甲里)

(7) 横画と左払いの關係 右ミチ(ノナ右) 有ユ・布フなど 短い画を先に書く。 左サダ(一ナ左) 在ザイ・友トモなど

(8) 左の払いから右の払いへ 文ブン(丶一ナ文)

右のうち特に(7)および(例外)の文字に注意すること。

■ ひらがな・カタカナの字源

漢字を簡略化して日本の文字(仮名)がつくり出された。

- ひらがな (ま行) 末美武女毛 (ら行) 良利留礼呂
- カタカナ (サ行) 散之須世曾 (ナ行) 奈仁奴祢乃

① 漢字の基礎



1 次の漢字を「成り立ち」の上から分類すると、ア象形、イ指事、ウ会意、工形声のどれに属するか、記号で答えよ。

- ① 中()
- ② 鳥()
- ③ 清()
- ④ 明()
- ⑤ 炎()
- ⑥ 語()
- ⑦ 心()
- ⑧ 本()

2 次の漢字の部首にあたる部分を書き抜き、その名前を書け。

(例) 稲……(禾)(のぎへん)

⑮	⑬	⑪	⑨	⑦	⑤	③	①
顔	超	慕	集	胸	街	窓	情
_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
⑯	⑭	⑫	⑩	⑧	⑥	④	②
彩	隱	廢	登	耕	建	烈	郊
_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____

3 次の漢字の総画数を算用数字で書け。

- ① 医()
- ② 矛()
- ③ 險()
- ④ 貫()
- ⑤ 抵()
- ⑥ 庭()
- ⑦ 風()
- ⑧ 扱()
- ⑨ 究()
- ⑩ 糸()
- ⑪ 版()
- ⑫ 進()

4 次の漢字の筆順として正しいものを選び、記号で答えよ。

⑦	①	⑩	⑧	⑥	④	③	②	①
希	勤	秀	発	推	飛	感		
_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
⑧	②	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
イ	ア	イ	ア	イ	ア	ウ	イ	ア
_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
⑨	③	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
ナ	ニ	苜	苜	禾	禾	ノ	ノ	ノ
_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
⑩	④	⑪	⑨	⑦	⑤	_____	_____	_____
希	希	勤	勤	秀	秀	発	発	発
_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
⑪	⑤	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
シ	シ	止	止	ヨ	ヨ	丨	丨	丨
_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
⑬	⑥	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
济	济	亡	紫	巾	彡	巾	巾	巾
_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
⑬	⑥	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
济	济	齒	齒	書	書	性	性	性
_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____

5 次の漢字の太線の部分は、筆順の上で第何画目にあたるか。算用数字で書け。

- ① 可 () ② 式 () ③ 究 ()
 ④ 若 () ⑤ 必 () ⑥ 專 ()
 ⑦ 廷 () ⑧ 続 () ⑨ 謹 ()

6 次のA群とB群のそれぞれ一字ずつを上下に組み合わせることができる漢字を例以外に十個答えよ。

A 群 B 群 (例) ⑤とキで「答」

① 立	ア	力		
② 明	イ	寸		
③ 敏	ウ	口		
④ 道	エ	衣		
⑤ 竹	オ	早		
⑥ 少	カ	京		
⑦ 雨	キ	合		
⑧ 日	ク	灰		
⑨ 今	ケ	皿		
⑩ 代	コ	田		
⑪ 山	サ	糸		

7 次のそれぞれの漢字のグループは、同じ偏がつくことで新しい漢字に生まれかわる。その偏を考えて書け。

(例) 青 永 毎 由 (氵) ↓ 清 泳 海 油

8 仮名は中国から伝来した漢字を簡略化して造り出された。ひらがなは漢字をくずした形から、カタカナは漢字の一部をとったものが多い。次の仮名はどの漢字からできたものか。後から選んで書け。

- ① リ () ② ホ () ③ ア () ④ ヌ ()
 ⑤ カ () ⑥ は () ⑦ ま () ⑧ た ()
 ⑨ ゆ () ⑩ む ()

末奴武阿利波加由太保

9 (参考)

「万葉集」の原文は、漢字の意味に関係なく、その音訓を借りて日本語を表記した「万葉仮名」で書かれている(二種の仮借文字)。次の有名な歌三首を読み、ひらがなで書いてみよう。

(ア) 春過而 夏来良之 白妙能 衣乾有 天之香来山
 (持統天皇)

(イ) 田児之浦徒 打出而見者 真白衣 不尽能高嶺爾
 雪波零家留 (山部赤人)

(ウ) 宇良宇良爾 照流春日爾 比婆理安我理 情悲毛
 比等里志於母倍婆 (大伴家持)